

高度処理型ネオ浄化そう

CMNシリーズ

- (5人) CMN-5
- (7人) CMN-7
- (10人) CMN-10

CMN

SERIES

CMNシリーズの特徴

1. 高度処理機能を付加

- 窒素除去機能 (T-N \leq 20mg/ℓ) と浮遊物質除去機能 (SS \leq 15mg/ℓ) を備えています。
(全浄協には『高度処理型』として登録しています)

2. 流入・放流の管底差は50mm

- 従来品(弊社CMC型)より流入管底を50mm下げ、放流管底を50mm上げてあるため嵩上げ工事と放流ポンプ槽の不要なケースが増えます。

※槽本体の水平には十分注意して施工してください。



CMN-5写真

3. すべての人槽が全高1,550mmの浅型設計

- 5人・7人・10人槽のすべてが全高1,550mmの浅型設計となっています。
地下水位が高く施工しにくい場合でも対応しやすくなりました。

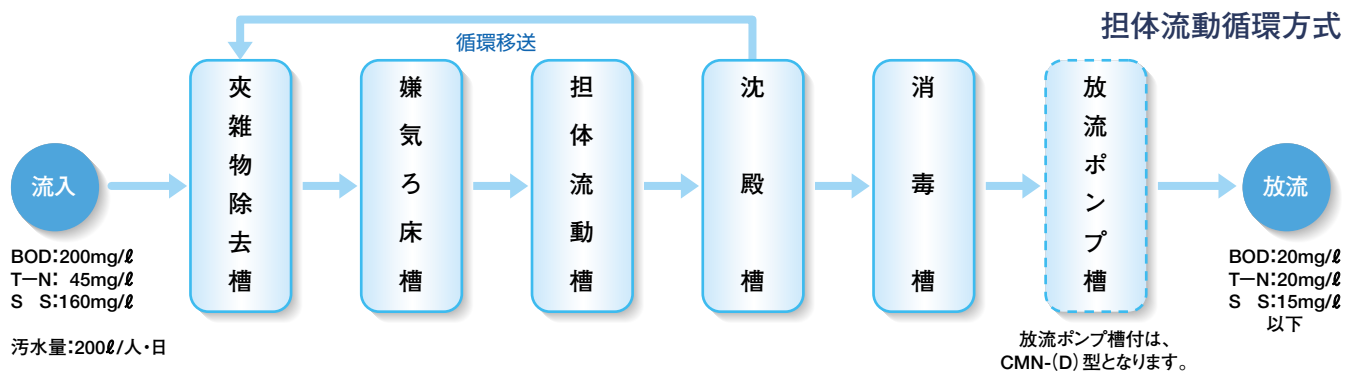
4. メンテナンスが容易

- 設置後、長期間にわたるメンテナンスを考慮し保守点検・清掃作業が容易に行えるようその形状・仕様を工夫した部品を採用しています。

5. 駐車場の下でも支柱レス施工可能

- 放流ポンプ槽付でも駐車場下での支柱レス施工に対応しています。
- ※車両総重量2トン以下の場合

フローシート



CMN-5, CMN-7, CMN-10 (5, 7, 10人)

寸法・仕様表

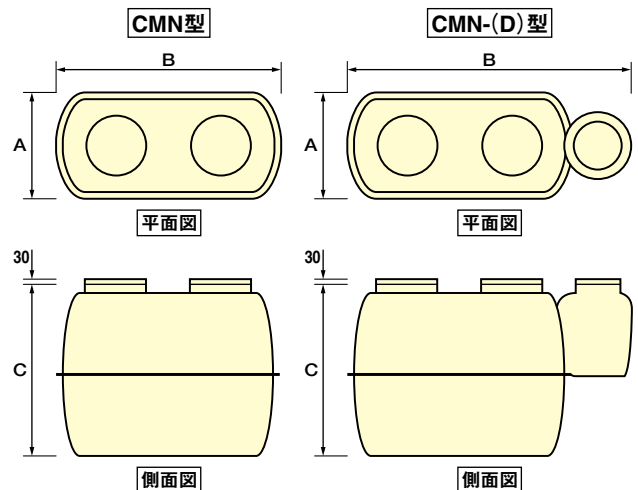
型 式		CMN-5	CMN-5 (D)	CMN-7	CMN-7 (D)	CMN-10	CMN-10 (D)
処 理 対 象 人 員 (人)		5		7		10	
日 平 均 汚 水 量 (m ³ /日)		1.0		1.4		2.0	
本 体 寸 法 (mm)	幅 A	1,120	2,730	1,200	3,330	1,660	3,600
	長さ B	2,190		2,790		3,060	3,600
	高さ C	1,550		1,550		1,550	
マンホールφmm (個)	φ600 (2)	φ450 (1)	φ450 (2)	φ600 (1)	φ450 (3)	φ450 (1)	φ450 (2)
マンホールカバー材質	プラスチック又は鋳鉄						
流入・放流管径 (mm)	φ100/φ100	φ100/φ30	φ100/φ100	φ100/φ30	φ100/φ100	φ100/φ30	φ100/φ30
流入管底 (GL-mm)	300						
放流管底 (GL-mm)	350	200	350	200	350	200	
送気口径 (mm)	φ13						
容 量 (m ³)	夾雑物除去槽	0.752		1.058		1.504	
	嫌気ろ床槽	0.753		1.053		1.510	
	担体流動槽	0.469		0.626		0.899	
	沈殿槽	0.320		0.461		0.705	
	消毒槽	0.021		0.021		0.021	
	総容量	2.315		3.219		4.639	
	放流ポンプ槽	—	0.060	—	0.060	—	0.060
	総容量(放流ポンプ槽を含む)	2.315	2.375	3.219	3.279	4.639	4.699
プ ロ ッ プ	方 式	電磁ダイヤフラム式又は電磁フリーピストン式					
	型 式	LP-60EN		LP-80E		LP-120H (S)	
	吐出風量 (ℓ/分)	60		80		120	
	消費電力 (W)	39		57		130	
	吐出呼び径	13A					
ポ ン プ 50/60Hz	仕 様	—	フロートスイッチ付 自動交互運転 水中ポンプ	—	フロートスイッチ付 自動交互運転 水中ポンプ	—	フロートスイッチ付 自動交互運転 水中ポンプ
	台 数	—	2台	—	2台	—	2台
	出 力 (W)	—	150	—	150	—	150
	揚 程 (m)	—	3.9/5.3	—	3.9/5.3	—	3.9/5.3
製 品 重 量 (kg)	200	240	240	280	400	440	

- 注 1. 流入・放流管底は、マンホールで天端をGL+30mmとしたときの値です。嵩上げを付けることで、更に300mm深くすることができます。
 2. 仕様表は、予告なしに変更することがあります。詳細は、最寄の窓口にお問い合わせください。
 3. 放流ポンプのコード長さは、標準6mとなります。
 4. 放流ポンプ槽付はエアの逃げ場がないため、臭突管(排気)工事をしてください。

断面パース図



平・側面図



お問い合わせは

株式会社西原ネオ
 URL <http://www.nishihara.co.jp>

本 社 〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目6番18号 TEL (03) 3452-4441 FAX (03) 3453-6695